

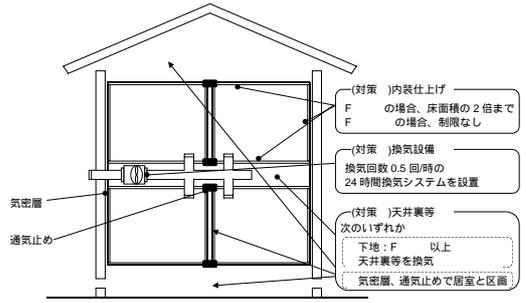
# チャンバー法による建築材料からの化学物質放散量の測定・評価手法に関する研究

担 当 部 科 環境科学部安全科学科、居住環境科

**研究の目的** 2002年、建築基準法が改正され、ホルムアルデヒドを放散する恐れのある建築材料の使用に対する規制が導入されました。本研究は、建築材料からのホルムアルデヒド等の放散量の測定手法の確立と、建材からの放散量と室内濃度の関係を明らかにすることを目的としています。

**建築基準法のシックハウス対策**

等級	チャンバ ー法 ( $\mu\text{g}/\text{m}^2\text{h}$ )	デシケ ー法 ( $\text{mg}/\text{l}$ )	旧 JIS	旧 JAS
F	5以下	0.3以下		
F	20以下	0.5以下	E <sub>0</sub>	F <sub>C0</sub>
F	120以下	1.5以下	E <sub>1</sub>	F <sub>C1</sub>
F		5.0以下	E <sub>2</sub>	F <sub>C2</sub>



**研究概要**

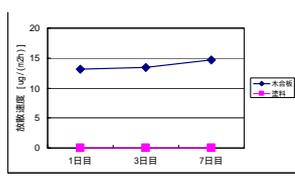
チャンバー法によるホルムアルデヒド放散量の測定を行い、建材の性能評価が行えることを確認しました。アセトアルデヒド、トルエンなどの放散量の測定方法を検討しました。室内濃度シミュレーション手法の検討を行いました。



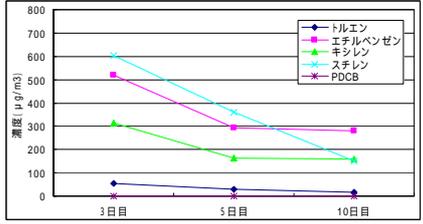
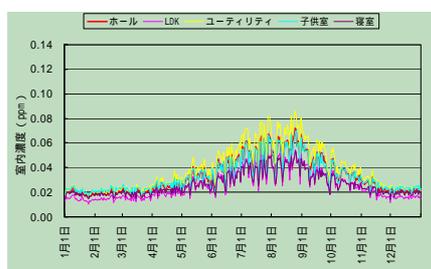
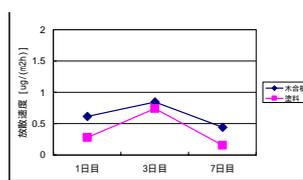
ポータブルVOC分析機  
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定できます。



**ホルムアルデヒド放散量測定結果**



**アセトアルデヒド放散量測定結果**



**活用方策・成果**

ホルムアルデヒド発散建築材料の性能評価・依頼試験を実施しています。住宅の空気質実態調査等に活用します。